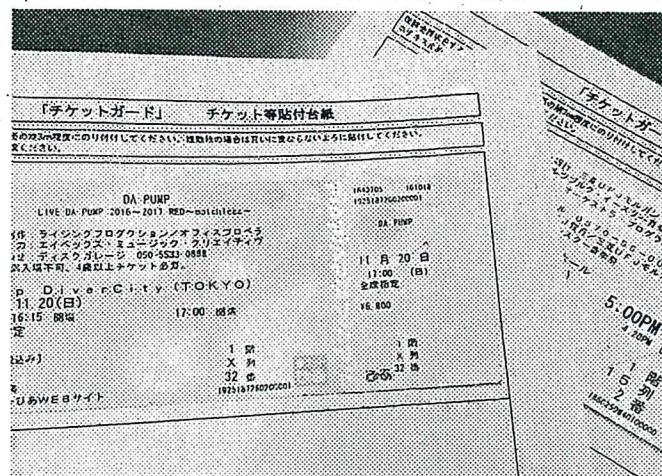


少額短期保険界

ユニークな保険相次ぐ

少額短期保険は、保険金額が少額で保険期間は1、2年。2006年4月施行の改正保険業法で認められた。16年12月末の事業者数は88社。16年度内には保有契約件数が700万件、収入保険料は800億円に届く見込み。代表的な商品には、ペット保険や家財保険がある。

さくら少額短期保険は、16年5月に「モバイル保険」を発売。「大手携帯電話会社の補償サービスに不満を持っている利用者も多いのでは」（小松義彦社長）と、月額700円で契約者のスマートフォンやタブレットなど3端末の修理・交換費用を年間10万円まで補償している。格安スマホの普及に伴い販売は順調に推移。「補償した後の継続率が高いのも特徴」（小松社長）といい、16年度内には契約



スマホの修理費やチケット代金を補償する保険など、ユニークな商品性が市場が拡大している少額短期保険業界

数が1万件を突破する見込み。

急病や交通遅延などでコンサートに行けなくなった場合のチケット代金を補償する「チケットガード」。チケットガード少額短期保険が11年9月から取り扱う。保険料はチケット代金の約10%ほどで、補償額は20万円まで。

近年のライブ人気やチケット価格の高騰に伴い、知名度が増して

きた同保険。だが、「被保険利益の対象者が明確ではない」（金融庁）と審査には1年以上を費やした。チケットは無記名が多く、譲渡で所有者が変わるためだ。そこで、契約者が被保険者を任命する形をとり、販売にこぎつけた。秋山由美代表取締役は「宿泊費を負担する保険も投入予定」といい、補償対象の拡充を急ぐ。